

令和3年度厚生労働科学研究費補助金(認知症政策研究事業)  
併存疾患に注目した認知症重症化予防のための研究

分担研究報告書

「認知症者の併存疾患管理の手引き」作成のための文献検索・・・褥瘡

研究分担者 仲上 豪二郎 東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻  
老年看護学/創傷看護学分野 准教授

研究要旨

本研究では、認知症者において過剰でも過少でもない適切な管理を具体的に提案することを目指し、「認知症者の併存疾患管理の手引き」の作成をゴールとして、必要な調査研究と作業を行うことを目的としている。令和3年度は認知症者における併存疾患のうち、褥瘡の管理に関する文献レビューを実施した。認知症と褥瘡をキーワードとしてかけあわせ、網羅的文献検索を行った結果、認知症者の褥瘡管理を扱う文献として7件が該当し、栄養ケア、体圧分散ケア、体圧に基づく予防ケアに関する報告が含まれた。今後、これらの知見をベースとし、予定している調査研究の結果を統合して、「認知症者の併存疾患管理の手引き」を作成する。

A. 研究目的

認知症者の併存疾患管理は非常に難しく、認知症者の併存疾患治療に有効性・安全性のエビデンスがきわめて乏しい。そこで、認知症者において適切な管理を具体的に提案することを目指し、「認知症者の併存疾患管理の手引き」の作成をゴールとして、必要な調査研究と作業を行うことを予定している。

本研究では、認知症者の併存疾患のうち褥瘡に焦点をあて、認知症者の褥瘡管理に関する既存の報告およびガイドラインの情集約をすることを目的とし、系統的に文献検索を行った。

B. 研究方法

検索データベースとして、PubMed(欧文)、医中誌(和文)および国内外ガイドライン(欧文はNPUAP/EPUAP/PPPIA発行のガイドライン、和文は日本褥瘡学会発行および日本神経学会発行のガイドライン)を対象とし、検索対象期間は2001年1月1日～2021年11月24日とした。認知症、褥瘡のそれぞれの関連キーワードをかけあわせて検索を行った。抽出された文献は独立した2名でスクリーニングを行い、該当文献についてデータ抽出を行った。また、認知症者における褥瘡の疫学に関する情報も抽出した。

文献検索により247件の文献がスクリーニング対象となり、最終的に認知症者の褥瘡管理に該当する文献は7件であった。

認知症者における褥瘡の疫学として、褥瘡保有者と褥瘡非保有者を比較し、褥瘡保有者に認知症者が有意に多いこと、認知症の有無を比較し、認知症者に褥瘡保有者が有意に多いことが複数の文献で言及されていた。

認知症者の褥瘡管理として、以下の内容が抽出された。①栄養ケア:認知症者の経管栄養管理は褥瘡有病率の違いや改善に影響しない(Lee YF et al, 2021; Jaul E, 2010)。経管栄養が褥瘡リスクを高めるという研究もある(Davies N et al, 2021)。②体圧分散ケア:認知症スクリーニング(MMSE)と褥瘡リスクアセスメント(OHスケール)を考慮して適切なマットレスを選択し、定期的に患者の体位変換を試みたところ褥瘡改善を認めた(高木百合子ら, 2016)。③体位に基づく予防ケア:認知症者の体位のリアルタイムモニタリングにより、個々に応じた褥瘡予防戦略を考慮する上で有用であると考えられる(Yap TL et al, 2020)。

C. 研究結果

D. 考察、結論

認知症者の褥瘡管理について、知見は限定的ではあるものの、複数のケアの視点より介入や管理の有効性に関する報告が抽出された。今後、これらの知見をベースとし、予定している臨床の実態調査および介入研究の結果を統合して、「認知症者の併存疾患管理の手引き」を作成する。

G. 研究発表 該当なし

H. 知的財産権の出願・登録状況 該当なし